

コロナ禍の高経大記録会

古井戸 寿郎（高崎市・79）

コロナ禍で各地のスポーツ大会も制限が続く中、高崎経済大陸上競技部はコロナ感染防止対策を講じながら、第1回陸上記録会を高崎市浜川競技場で実施した。喜んだのは参加した選手だけではない。後で記録を告げられた指導者や保護者も大いに感動し、喜んだ。

実施した種目は、中学生男女12、高校・一般男子11、一般女子7の計30種目。高校生は同日に正田醤油スタジアム群馬で開催された学校対抗のため参加できなくなったが、参加者529人と、各種目とも盛況だった。

特に、一般の5000円と1万円は箱根駅伝予

選会への参加基準記録突破が懸かる選手が多く、盛り上がった。高崎経済大と育英大の選手は、箱根駅伝予選会出場を決定付ける活躍を見せた。参加しなかった上武大は7月の県選手権で既に出場権を獲得。10月17日の箱根駅伝予選会には県勢として上武大、育英大、高崎経済大の3校が選手12人のフルエントリーできる結果となった。

延期された東京五輪に参加予定の南スーダン4選手も参加。原則無観客の記録会ながら、例外的に民放テレビの取材を含め通訳・ボランティアなどビブス着用姿が目をつけた。